

看護専門科目	基礎看護学					
看護学科	必修	2単位	演習	平成30年度	後期	1回生
科目名	生きることを支える看護演習					
担当教員	◎三毛美恵子 塚原節子 斎藤洋子 森嶋道子 小川朋子 森本茜					
目的	治療を要する対象が安全かつ安楽に生きるために必要な看護技術の基礎的能力を養う。					
目標	1. 人体の構造と機能を踏まえた診療の補助技術の基本的方法を説明できる 2. スタンダードプリコーションの概念に基づいた無菌操作の基本的な方法を説明できる 3. 基本的な無菌操作を実施できる 4. 検査・治療に伴う援助技術（薬物投与、酸素投与、一時的吸引、導尿）を基本に基づいて実施できる 5. 事例患者に適した診療の補助技術の実施方法を記述し実施できる 6. 食と排泄の基本的な援助（食事介助、床上排泄の援助、浣腸、導尿）を基本に基づいて実施できる					
他科目との関連	看護学概論 看護技術論 日常生活を支える技術演習 体のしくみと疾病の成り立ち各科目 看護基盤実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の得点				0.8
	レポート	課題レポート				0.2
	記録等					
	その他					
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	①志自岐康子ほか「ナースンググラフィカ基礎看護学③」メディカ出版 ②志自岐康子ほか「ナースンググラフィカ基礎看護技術①」医学書院					
参考資料	その都度必要な資料を提示する。					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	体のしくみと疾病のなりたちを復習し、身体の機能や構造を理解して受講すること。 今後の看護専門科目の演習科目や実習科目で行う看護技術の基礎となる科目であるため、主体的に繰り返し自己学習を積み重ねること。					